

# (一社)茨城県環境保全協会 協会だより

平成30年度  
第8号(通巻第53号)  
平成30年11月1日発行  
一般社団法人茨城県環境保全協会  
発行担当 広報委員会  
水戸市平須町1825-192 平須ビル202  
TEL 029-303-6007  
FAX 029-303-6008  
Mail info@kankyo-ibaraki.com

## 浄化槽清掃に関する講習会を開催

アムズ株式会社



県内は利根川や那珂川の二級河川や霞ヶ浦、北浦、酒沼など淡水資源が豊富にあり、県としてもその環境保全を重視して取り組んでいるとのことでした。また、10月1日からは『浄化槽の日』にあわせて、県庁2階の県民ホールで浄化槽についてより詳しく理解して頂くよう、展示ブースを設けているとのことでした。10月15日からは第17回世界湖沼

会議が茨城で開催されることもあり、水環境の保全に力を注いでいくのお話を頂き、茨城県としての水環境に対する考え方、取り組みにつ

茨城県生活環境部  
環境対策課水環境室 今川室長



10月6日(土)茨城県開発公社ビル4階大会議室にて、平成30年度の浄化槽清掃に関する講習会を実施致しました。今回は浄化槽メーカーのアムズ株式会社様、プロアメーカーの安永エアープンプ株式会社様の御協力を得ての講習会となりました。参加人数は95名、当協会秋山理事長の挨拶にはじまり、茨城県生活環境部環境対策課水環境室今川室長に県内の浄化槽状況などについてご挨拶頂き、

安永エアープンプ株式会社



プのために、清掃時に「11条検査は受けていますか?」とお声掛けと、清掃後には必ず浄化槽清掃記録票を作成しお客様にお渡し頂きたいとのことでした。当協会でも浄化槽清掃記録票の書き方講習

いてお話を頂きました。さらに茨城県からのお願いととして、平成29年時点で受検率が38.9%に留まっている11条法定検査の受検率アップ



業務用機器の展示



は実施していますが、清掃後には必ず提出するように更に取り組んで行きたいと思っております。講習会の内容ですが、アムズ株式会社様からは、CXF型、CXN2型の2機種についてその仕組みと構造、管理と清掃の仕方について事細かにわかりやすく注意点を教えて頂きました。また、安永エアープンプ株式会社様には、プロワの種類、構造、メンテナンスの仕方、部品交換の仕方を教えて頂きました。浄化槽も最近コンパクト化され構造自体も複雑になり適切な管理、清掃方法が必要になっております。当協会ではこの講習会が皆様の日常業務の一助になればと考えております。次回の御参加も宜しくお願い申し上げます。また、賛助会員の皆様にご協力頂き、皆様の日業業務に役立つ最新の商品を紹介して頂きました。参加された会員の皆様も休憩時間などを利用し、熱心に商品説明に耳を傾けている姿が見受けられました。

(一社)日本環境保全協会 関東地区協議会 秋季研修会へ出席

10月18日(木)群馬県の伊香保温泉ホテル小暮において標記の研修会が開催され、当協会から秋山理事長、池田、岡島副理事長、小林理事、北茨城市企業衛生より2名の合計6名で出席してまいりました。

研修会では、まず「働き方改革について」と題して、群馬銀行の人事部副部長、倉田明氏より同社の

取り組みについて講義を受けました。その後、「気候変動時代のエコアクション」と題して、環境カウンセラーNPOぐんま代表理事、片亀光氏より講義を受け、その後、各県連より取り組み内容の報告がありましたので発表順にご紹介いたします。

三多摩清掃事業協同組合

日本環境保全協会の顧問弁護士と契約し、入札の時に弁護士の見解書を添付する準備をしています。また、スマートフォンを使用して組合員企業の災害時の従業員安否確認訓練をし、各市役所に訓練の報告をしました。

神奈川県環境整備事業組合

神奈川県との災害協定をすすめているところで、横須賀市においてゴミ収集車の作業員の死亡事故があり、サイドブレーキがあまかったことが原因による事故です。作業中の車止めの使用を徹底します。

(一社) 千葉県環境保全センター

千葉県内の全ての自治体へ一般廃棄物の随意契約の要望書を、この10年くらい毎年提出しています。理解してくれる自治体が増加傾向にあります。



投棄監視パトロールを行います。  
栃木県環境保全協会

11条検査の受検率向上と合併浄化槽への転換

を目指して、各市町村と連携して活動しております。埼玉県一般廃棄物連合会

埼玉県警と協力し交通事故防止活動として、ポケットティッシュ4000個を配布しました。モアコンパクト浄化槽の講習会を開催しました。年2回、理事会を各市町村で行い、その後、開催した市町村を表敬訪問する活動を行っております。また、県の災害図上訓練に参加しました。

(一社) 群馬県環境保全協会

群馬県と災害協定を結んでおります。人口あたりの一般ごみの収集量が多いためリサイクルの徹底などごみの量の削減に取り組んでおります。11条検査の受検率が74パーセントになりましたが、さらなる向上を目指していきたいと思っております。

以上のような研修会を行い、夕方から懇親会に参加してさらなる意見交換等を行ってまいりました。

浄化槽の日に合わせ、県庁で浄化槽のミニチュアモデルを展示



10月1日の浄化槽の日に合わせ、今年も県庁2階ホールで各種展示が行われ、当協会でも浄化槽の内部構造がよくわかり、清掃の必要性を訴えるためのスケルトンミニチュアモデルおよび、訴求ポスター類を展示しました。

県内各地で環境イベントへ参加しました

土浦市の霞ヶ浦総合運動公園で10月28日(日)に開催された、グリーンフェスティバル2018に参加

グリーンフェスティバル



加致し、浄化槽のミニチュアモデルを展示して、浄化槽清掃の必要性を訴えました。晴天にも恵まれ、会場来場者数1万人と盛大な開催でした。また、同日

龍ヶ崎環境フェア



龍ヶ崎市主催の「龍ヶ崎環境フェア2018」が開催されました。リサイクルや地球温暖化など、環境問題に関心を持って頂くことを目的に、市民団体や事業所などによ

10月度定例役員会の開催

10月17日(水)午前10時より水戸市内平須町の協会事務局において10月度の定例役員会を開催いたしましたので、当日の議事内容等についてご報告いたします。

出席理事

秋山理事長・池田・岡島副理事長 小林・早川・

石井・犬塚・山村理事(理事15名中8名出席) 露崎・佐藤監事

協議事項

- ① 県内環境関連イベントについて  
今月号に記載されております県内各種イベント参加について協議しました。
- ② 協会だよりについて  
協会だより10月号の内容について広報委員会より提案があり承認されました。
- ③ 表彰関係について  
継続審議となっております各種表彰の推薦者を決定し、各団体へ提出をすることにしました。
- ④ 日本環境保全協会へ推薦した候補者の表彰が決定し、11月に行われた全国大会の席上で表彰されましたが、詳しくは来月の協会だよりにてご報告いたします。

報告事項

- ① 浄化槽の清掃講習会について  
講習会のアンケート内容を確認し、次回の講習会に役立てていくこととしました。
- ② 北海道胆振東部地震災害見舞について  
協会だより10月号に掲載しております。
- ③ 第5回浄化槽事業委員会について  
山形県にて行われた(一社)日本環境保全協会第5回浄化槽事業委員会の内容について山村理事より説明があり、11条検査の受検率の向上を目指している山形県の現状等について報告されました。
- ④ 不法投棄監視パトロール活動について  
11月10日(土)北茨城市での不法投棄監視パトロール活動のコース等について山村理事より説明がありました。

以上の内容で役員会を行い、正午近くに閉会いたしました。



県立歴史館